



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）松本 清一郎
問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員（氏名）石川 大洋 TEL 03-3664-3980
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,284	7.2	41	△69.4	45	△64.5	200	108.3
2026年3月期第1四半期	3,995	22.4	136	△55.8	127	△61.2	96	△66.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.26	—
2026年3月期第1四半期	4.46	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,794	13,385	51.9
2026年3月期	25,730	13,487	52.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 13,385百万円 2026年3月期 13,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	3.6	550	43.3	500	64.8	600	91.5	27.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※2026年7月31日に「2027年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	21,974,000株	2026年3月期	21,974,000株
2027年3月期1Q	360,827株	2026年3月期	360,354株
2027年3月期1Q	21,613,311株	2026年3月期1Q	21,542,868株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、景気の先行きにつきましては、各種政策の効果もあって継続的な回復が期待されるものの、物価の上昇や中東情勢の動向、金融資本市場の変動など、景気を下押しするリスクについては引き続き注視していく必要があります。

化学工業におきましては、生成AIの普及拡大に伴う関連材料等の需要が堅調に推移している一方、原材料コストの高止まりに加え、エネルギー価格の上昇、物流費や労務費等のコスト増加が引き続き利益を圧迫いたしました。中東情勢の影響による数量的な調達リスクには緩和の兆しも見られるものの、主要航路における緊張感や地政学リスクは完全には払拭されておらず、原油価格や為替の乱高下を含め、引き続き経営環境の動向を注視する必要があると認識しております。

こうした状況下、当社は外部環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、調達先の多角化・分散化によるサプライチェーンの強靱化と、より効率的な生産体制の構築に努めております。今後も、本年度からスタートした新中期経営計画に基づく経営目標の達成に向けた諸施策を着実に実行し、重要課題の解決と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

当第1四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比7.2%増の4,284百万円となりましたが、売上原価が上昇したことから、営業利益は前年同四半期比69.4%減の41百万円、経常利益は前年同四半期比64.5%減の45百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却益230百万円を計上したことにより前年同四半期比108.3%増の200百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

製品区分	2026年3月期第1四半期累計期間				2027年3月期第1四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	250	955	1,206	30.2	269	1,230	1,499	35.0
化成品関係	718	776	1,494	37.4	1,049	1,029	2,078	48.5
医薬品関係	494	800	1,294	32.4	447	259	706	16.5
合 計	1,463	2,532	3,995	100.0	1,765	2,519	4,284	100.0
構成比(%)	36.7	63.3	100.0		41.3	58.7	100.0	

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

アミノ酸の輸出版売が増加したことから、売上高は1,499百万円と、前年同四半期に比べ293百万円(24.3%)の増収となりました。

(化成品関係)

高分子材料の販売が好調であったことから、売上高は2,078百万円と、前年同四半期に比べ584百万円(39.1%)の増収となりました。

(医薬品関係)

一部の原薬および原薬中間体の販売が減少したことから、売上高は706百万円と、前年同四半期に比べ587百万円(45.4%)の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から373百万円増加し、13,417百万円となりました。これは主に、現金及び預金、製品の増加と、売掛金、その他の中の未収消費税の減少によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から309百万円減少し、12,377百万円となりました。これは主に、減価償却費による建物、機械及び装置、保有株式の時価評価変動による投資有価証券の減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から318百万円増加し、8,318百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、借入による短期借入金の増加と、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から152百万円減少し、4,090百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から102百万円減少し、13,385百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、配当金の支払い、保有株式の売却等によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社は、2026年5月15日に発表いたしました2027年3月期の業績予想におきまして、一部電子材料向け製品の収益性が改善途上であったことに加えて、中東情勢が当社事業に与える影響の合理的算定が困難であったことから、各段階利益を「未定」（売上高のみ公表）としておりました。

その後も、中東情勢の不透明感に伴うナフサ由来原材料の調達動向や原燃料価格の高騰など、先行きが見通しにくい状況は続いておりますが、直近の事業環境及び業績動向を踏まえ、現時点で合理的な前提のもと通期業績予想を算定し、各段階利益を公表することといたしました。

2027年3月期の業績予想といたしましては、売上高16,000百万円、営業利益550百万円、経常利益500百万円、当期純利益600百万円としております。なお、2027年3月期の業績予想につきましては、本日、別途「2027年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」においても開示しております。

今後の地政学リスクの動向や原燃料価格の変動等により、業績に重大な影響を及ぼす事態が生じた場合、あるいは業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

また、2027年3月期を初年度とする3ヵ年（2026～2028年度）の中期経営計画の数値目標につきましては、確定次第、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885	1,394
売掛金	3,129	2,571
電子記録債権	204	250
製品	5,935	6,454
仕掛品	210	424
原材料	1,985	1,959
その他	691	361
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,044	13,417
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,707	2,667
機械及び装置（純額）	2,950	2,875
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	29	37
その他（純額）	1,351	1,307
有形固定資産合計	10,149	9,998
無形固定資産	89	79
投資その他の資産		
投資有価証券	2,349	2,200
その他	97	98
投資その他の資産合計	2,447	2,299
固定資産合計	12,686	12,377
資産合計	25,730	25,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,351	2,758
電子記録債務	468	505
短期借入金	1,740	3,540
1年内返済予定の長期借入金	2,394	519
未払法人税等	8	54
賞与引当金	158	86
設備関係電子記録債務	94	163
その他	785	692
流動負債合計	8,000	8,318
固定負債		
長期借入金	2,393	2,302
再評価に係る繰延税金負債	618	618
退職給付引当金	1,065	1,060
資産除去債務	13	13
その他	152	95
固定負債合計	4,242	4,090
負債合計	12,243	12,409

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	5,566	5,550
自己株式	△103	△103
株主資本合計	12,184	12,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,152	1,066
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	150	150
評価・換算差額等合計	1,303	1,216
純資産合計	13,487	13,385
負債純資産合計	25,730	25,794

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,995	4,284
売上原価	3,246	3,595
売上総利益	749	689
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	130	131
賞与引当金繰入額	17	19
研究開発費	181	212
その他	282	285
販売費及び一般管理費合計	612	648
営業利益	136	41
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	34
雑収入	2	3
営業外収益合計	29	37
営業外費用		
支払利息	33	30
雑損失	4	3
営業外費用合計	37	34
経常利益	127	45
特別利益		
投資有価証券売却益	—	230
特別利益合計	—	230
特別損失		
固定資産除却損	20	9
特別損失合計	20	9
税引前四半期純利益	107	266
法人税等	11	66
四半期純利益	96	200

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	324百万円	304百万円